

プレスリリース 令和8年10月5日（月）



島根県農林水産部畜産課
担当者名 坂本・佐藤
TEL 0852-22-6826

誰もが、
誰かの、
たからもの。

酪農・乳業団体の副知事表敬訪問

島根県内の酪農・乳業団体と島根県では、今秋、牛乳消費拡大や酪農振興に資する次の取組を展開します。

- ① 「しまね酪農ミルクフェア」の初開催
- ② 県内初となる「全国ジャジング・スクール in 島根」の受け入れ
- ③ 牛乳パックを活用した県キープレーズ「誰もが、誰かの、たからもの。」の広報
これらの取組を報告するために、県内外の団体代表者が副知事を表敬訪問します。

1 日 時

令和8年10月8日（木）14：50～15：20

2 場 所

県庁 301 会議室

3 訪問者

全国ホルスタイン改良協議会	会長	山本	真五（岡山県）
シマネ・ホルスタイン・クラブ	会長	福間	聖治（大田市）
島根県乳業協会	会長	澄田	貴（島根中酪株式会社代表取締役社長）
	副会長	佐藤	毅史（木次乳業有限会社代表取締役）
		久保田	英治（有限会社クボタ牛乳代表取締役）
島根県酪農協議会	会長	西谷	悟郎（大田市）
	副会長	灘尾	哲明（大田市）

4 対応者

島根県副知事	石原 恵利子
島根県農林水産部 部長	山本 拓樹
島根県農林水産部 次長	田中 千之

5 参 考

（1）しまね酪農ミルクフェア 2026（10月10日）

- ・牛乳・乳製品の消費拡大、酪農への理解醸成、生産者と消費者との交流機会創出を目的に、島根県牛乳消費拡大運動実行委員会が開催。
- ・飼料高騰や需要低迷等の“令和の酪農危機”を乗り越え、関係者一団となって酪農イベントを開催するのは7年ぶり。

(2) ジャudging・スクール in 島根 (10月9日～10日)

- ・酪農家等の「牛を見る目(審査方法)」を養成するため、全国ホルスタイン改良協議会主催のスクールを年1回全国持ち回りで開催し、全国から100名以上の受講生が参加。
- ・これまで酪農が盛んな地域での開催が多かったが、昨年の全日本ホルスタイン共進会で上位入賞を果たしたことが契機となり、島根県で初めて開催。

(3) 牛乳パックへの県キープレーズ「誰もが、誰かの、たからもの。」の掲載

- ・島根県は、島根県乳業協会と「獣医師の育成など酪農業を守るための連携協定」を締結し、同年10月から翌3月まで、協定の一環で、牛乳パック(200ml)へ獣医師確保関連広報の掲載を実施。
- ・上記取組を参考に、県キープレーズ「誰もが、誰かの、たからもの。」の広報掲載を提案したところ、県内乳業3社(島根中酪(株)、(有)クボタ牛乳、木次乳業(有))で取り組んでいただけたことが決定。
- ・広報を掲載した牛乳パックは、R8年10月～R9年3月まで流通予定で、店頭販売のほか、県内の学校給食にも提供。

島根創生計画[第2期]

I 活力ある産業をつくる
1 魅力ある農林水産業づくり
(1) 農業の振興 (p.19)

【県 HP】

(島根創生を進めるための新規・拡充施策(令和8年度版))

<https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/zaisei/vosan/yosanr8/r8gaivou.data/sinkikakuur8.pdf>



(島根創生計画[第2期])

<https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/keikaku/shimanesousei/index.data/souseikeikaku2nd.pdf>

